

## 平成26年3月期 決算補足資料

1. 決算概要	・・・	P 1
2. 主要医薬品の売上推移	・・・	P 2
3. 新薬開発状況（自社）	・・・	P 3
4. 新薬開発状況（導出）	・・・	P 4

# 1. 決算概要

【連結】

(百万円)

項目	決算期 '12(H24)年 3月期	'13(H25)年 3月期	'14(H26)年 3月期	前期比	'15(H27)年 3月期予想	前期比	うち上期
売上高	64,618	62,491	70,399	12.7%	67,200	△ 4.5%	33,800
営業利益	7,465	7,761	12,301	58.5%	7,800	△ 36.6%	4,300
(売上高比%)	(11.6)	(12.4)	(17.5)		(11.6)		(12.7)
経常利益	8,326	8,849	13,541	53.0%	8,700	△ 35.8%	4,800
(売上高比%)	(12.9)	(14.2)	(19.2)		(12.9)		(14.2)
特別損益	△ 251	△ 857	△ 140	-	-	-	-
当期純利益	4,769	5,019	9,093	81.1%	6,100	△ 32.9%	3,350
(売上高比%)	(7.4)	(8.0)	(12.9)		(9.1)		(9.9)
販売費及び一般管理費	34,305	33,586	34,917	4.0%	35,800	2.5%	17,900
研究開発費	10,043	10,312	11,298	9.6%	12,400	9.8%	6,200
(売上高比%)	(15.5)	(16.5)	(16.0)		(18.5)		(18.3)
減価償却費	2,635	2,390	2,190	△ 8.4%	2,330	6.4%	1,100
設備投資額	1,893	1,664	2,382	43.1%	2,310	△ 3.0%	1,450
輸出高	2,793	4,018	7,756	93.0%	6,660	△ 14.1%	3,860
期末従業員数(人)	1,893	1,894	1,883	△ 11	-	-	-

【キッセイ薬品単体】

売上高	55,502	54,231	61,090	12.6%	58,500	△ 4.2%	29,700
医薬品	46,310	45,622	47,868	4.9%	47,530	△ 0.7%	23,590
ヘルスケア食品	3,618	3,727	3,861	3.6%	3,980	3.1%	1,980
その他*	5,573	4,881	9,360	91.7%	6,990	△ 25.3%	4,130
営業利益	7,049	7,236	11,649	61.0%	7,500	△ 35.6%	4,200
(売上高比%)	(12.7)	(13.3)	(19.1)		(12.8)		(14.1)
経常利益	7,940	8,348	12,908	54.6%	8,400	△ 34.9%	4,700
(売上高比%)	(14.3)	(15.4)	(21.1)		(14.4)		(15.8)
特別損益	△ 243	△ 856	△ 134	-	-	-	-
当期純利益	4,593	4,702	8,729	85.6%	5,900	△ 32.4%	3,300
(売上高比%)	(8.3)	(8.7)	(14.3)		(10.1)		(11.1)
販売費及び一般管理費	32,704	31,877	33,159	4.0%	34,100	2.8%	17,100
販売費	18,648	17,941	18,154	1.2%	18,200	0.3%	9,000
一般管理費	3,801	3,443	3,526	2.4%	3,500	△ 0.7%	1,900
研究開発費	10,254	10,492	11,478	9.4%	12,400	8.0%	6,200
(売上高比%)	(18.5)	(19.3)	(18.8)		(21.2)		(20.9)
減価償却費	2,472	2,206	2,027	△ 8.1%	2,170	7.1%	1,030
設備投資額	1,713	1,710	2,039	19.2%	2,030	△ 0.4%	1,290
主要内容	生産機械等 863 その他 850	生産機械等 389 その他 1,321	生産機械等 680 その他 1,359		生産機械等 1,280 その他 750		生産機械等 840 その他 450
輸出高	2,779	4,011	7,740	93.0%	6,650	△ 14.1%	3,860
期末従業員数(人)	1,548	1,552	1,534	△ 18	-	-	-

※:「その他」は、国内販売提携先供給額、技術料売上(導出テーマに係る契約金、マイルストーン収入、ランニングロイヤリティ)の合計額です。

## 2. 主要医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 3月期	'12(H24)年 3月期	'13(H25)年 3月期	'14(H26)年 3月期	前期比	'15(H27)年 3月期予想	前期比	うち上期
排尿障害改善薬 ユリーフ		11,156	11,714	13,331	13.8%	13,770	3.3%	6,770
糖尿病治療薬 グルファスト		4,299	3,447	3,410	△ 1.1%	3,630	6.5%	1,790
糖尿病治療薬 グルベス		668	1,694	2,551	50.5%	3,020	18.4%	1,450
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン		1,046	1,140	1,266	11.1%	1,300	2.7%	650
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR		2,899	4,426	5,595	26.4%	5,330	△ 4.7%	2,610
高脂血症治療薬 ベザトール		7,091	5,947	5,543	△ 6.8%	4,600	△ 17.0%	2,370
切迫流・早産治療薬 ウテメリン		4,338	4,012	3,909	△ 2.5%	3,390	△ 13.3%	1,750
脳循環改善薬 キサンボン		1,467	1,219	1,074	△ 11.9%	910	△ 15.3%	460
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液		2,086	2,329	1,526	△ 34.5%	1,450	△ 5.0%	630
アレルギー性疾患治療薬 リザベン		1,723	1,606	1,444	△ 10.1%	1,350	△ 6.5%	680
気管支喘息治療薬 ドメナン		257	226	197	△ 12.8%	170	△ 13.7%	90
血液凝固阻止剤 フラグミン		595	466	418	△ 10.3%	370	△ 11.5%	190
緑内障・高眼圧症治療薬 リズモンTG点眼液		648	553	493	△ 10.9%	430	△ 12.8%	220
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ		693	687	796	15.9%	740	△ 7.0%	380
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン		622	641	659	2.8%	600	△ 9.0%	300

### 3. 新薬開発状況(自社)

(平成26年5月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	サラジェン <sup>®</sup> ／ ピロカルピン	自社開発	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善 シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	剤形追加 (顆粒剤)
申請準備中	ユリーフ <sup>®</sup> ／ シロドシン	創製品／第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用	剤形追加 (OD錠)
第Ⅲ相	PA21	導入品／ビフォーファーマ(スイス)	透析時高リン血症	リン吸着作用	
	KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
第Ⅱ相	オザグレル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	ドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
	KWA-0711	創製品	慢性便秘症	消化管における水吸収抑制作用	
第Ⅰ／Ⅱ相	YS110	導入品／ワイズ・エー・シー、 東京大学、科学技術振興機構	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノクローナル抗体	治験実施地域： フランス
第Ⅰ相	KUX-1151	創製品	痛風、高尿酸血症	尿酸生成抑制・排泄促進作用	
	エボエチンアルファ BS注「JCR」／ JR-013sc	導入品／JCRファーマ共同開発	腎性貧血、自己血貯血	赤血球増加作用	バイオ後続品 高単位製剤
	KEA-0447	創製品／杏林製薬共同開発	過活動膀胱	選択的プロスタグランジンEP1受容体拮抗作用	

※前回公表時(平成26年2月)からの変更点: ①サビーン…4月17日より新発売、②ユリーフ(剤形追加)…第Ⅰ相→申請準備中

## 4. 新薬開発状況(導出)

(平成26年5月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ(日本)	アセアン <sup>※1</sup>	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、スリランカ <sup>※2</sup>	前立腺肥大症に伴う排尿障害	$\alpha$ 1A受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	$\beta$ 2受容体刺激作用
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	$\beta$ 2受容体刺激作用

※前回公表時(平成26年2月)からの変更点: なし

※1: 発売: タイ、承認: フィリピン、ミャンマー、申請中: 3カ国

※2: 発売: タイ、承認: インド、申請中: アセアン3カ国